



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月7日

上場会社名 株式会社ラック 上場取引所 大
 コード番号 3857 URL http://www.lac.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高梨 輝彦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 伊藤 信博 TEL 03-6757-0100
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	23,386	1.0	1,200	23.3	1,086	32.6	542	606.2
24年3月期第3四半期	23,162	△4.4	974	33.8	819	42.5	76	△79.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 512百万円 (924.8%) 24年3月期第3四半期 49百万円 (△90.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	20.44	—
24年3月期第3四半期	0.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	19,393	5,712	29.3	224.17
24年3月期	19,399	6,509	33.5	214.74

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 5,688百万円 24年3月期 6,498百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
25年3月期	—	4.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	10.8	1,990	5.0	1,740	4.0	870	31.7	33.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

1株当たり当期純利益の金額は、平成24年5月15日の決算短信で公表いたしました平成25年3月期の連結業績予想において30円42銭（通期）としておりましたが、平成24年6月27日付でA種優先株式全株を消却したことにより、33円35銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 一社（社名）一、除外 3社（社名）

（旧）株式会社ラック、イー・アンド・アイ システム株式会社、株式会社アイティークルー

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 有
④ 修正再表示： 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 7「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期3Q	26,683,120株	24年3月期	26,683,120株
25年3月期3Q	1,304,930株	24年3月期	1,304,760株
25年3月期3Q	25,378,335株	24年3月期3Q	25,339,148株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 6「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 連結業績及び連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る数値です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	6
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
(4) 追加情報	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	11
(3) 継続企業の前提に関する注記	12
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(5) セグメント情報等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要が引き続き下支えするなか、政権交代に伴う景気対策への期待などから円高の是正、株価の回復が見られたものの、景気は世界経済の減速等を背景に依然として弱含みの状況で推移しました。

当社の属する情報サービス業界では、システム化投資は金融分野など一部に復調傾向が見られたうえ、情報セキュリティ対策分野においてもその重要性が改めて認識され底固く推移しました。しかしながら、システム開発や関連商品販売などでは案件の小型化や提供サービス価格の低減要請など、企業のIT投資は引き続き慎重な姿勢で推移しました。

このような状況のなか、当社は、平成24年4月に完全子会社3社を吸収合併し「強い会社 創成」を引き続きのテーマとし、一元化した顧客基盤への営業展開、提供するサービスの選択と集中、ワンストップソリューションの提案、要員の適正配置、グローバル展開の推進、A種優先株式の取得および消却による株主価値の向上など、経営基盤の強化と業容拡大に取り組んでまいりました。

特に当社の強みである情報セキュリティ分野では、サイバー攻撃などによる事件・事故が大きな社会問題となるなか、お客様への適切なセキュリティソリューションの提供に加え、メディアへの情報発信や各種レポートの公表など情報セキュリティの啓発にも注力し、より安心して安全な情報化社会の実現に向けた取り組みを継続的に行ってまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、システムインテグレーションサービス事業（以下、SIS事業という。）では減少したものの、セキュリティソリューションサービス事業（以下、SSS事業という。）とディーラー事業では増加し、233億86百万円（前年同四半期比1.0%増）となりました。利益面では、売上の増加に加え引き続き経費低減に努め、営業利益は12億円（前年同四半期比23.3%増）、経常利益は10億86百万円（同32.6%増）、四半期純利益は5億42百万円（同606.2%増）となりました。

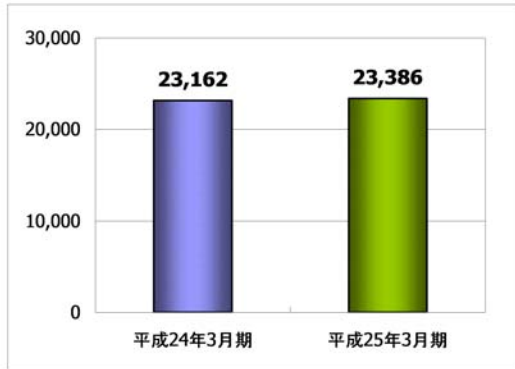
当第3四半期連結累計期間における業績の前年同四半期比は次のとおりであります。

（単位：百万円）

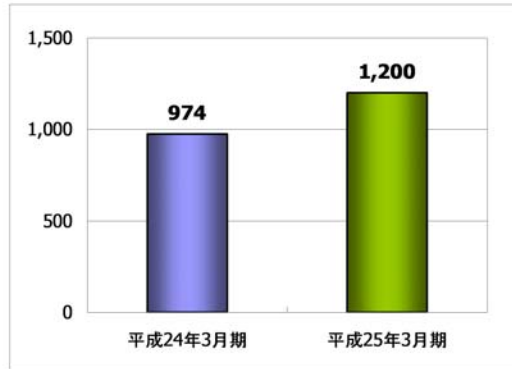
	前第3四半期連結累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年12月31日)	前年同四半期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	23,162	23,386	223	1.0
売上原価	18,278	18,476	198	1.1
売上総利益	4,884	4,909	25	0.5
販売費及び一般管理費	3,909	3,708	△201	△5.1
営業利益	974	1,200	226	23.3
経常利益	819	1,086	266	32.6
四半期純利益	76	542	465	606.2
E B I T D A	1,866	1,965	98	5.3

※ E B I T D A : 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

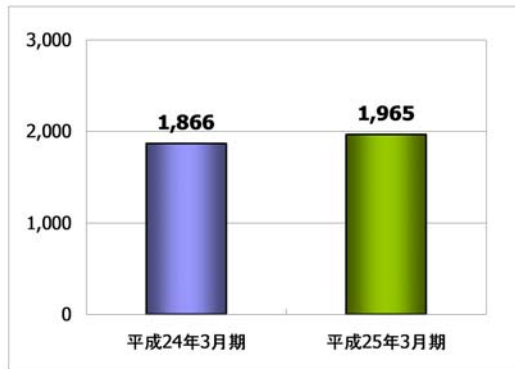
[連結売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[連結営業利益の前年同四半期比 単位:百万円]

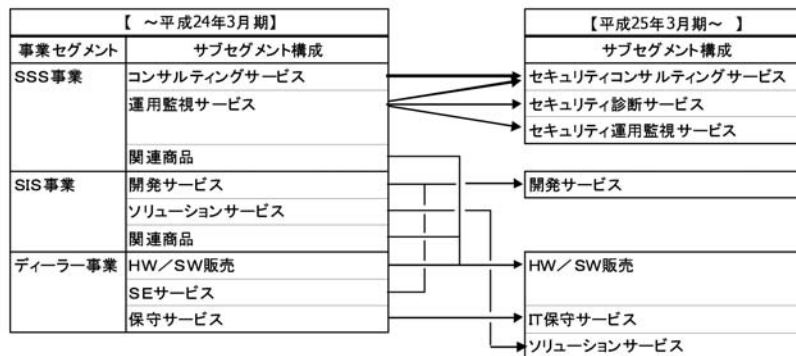


[連結EBITDAの前年同四半期比 単位:百万円]



セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、平成24年4月の子会社吸収合併とそれに伴う組織変更に併せて各セグメントの構成を以下のとおり見直しております。前年同四半期の実績についてもこれに合わせた集計値を記載しております。

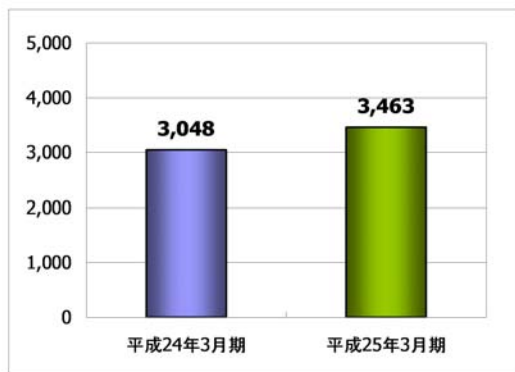


セキュリティソリューションサービス事業（SSS事業）

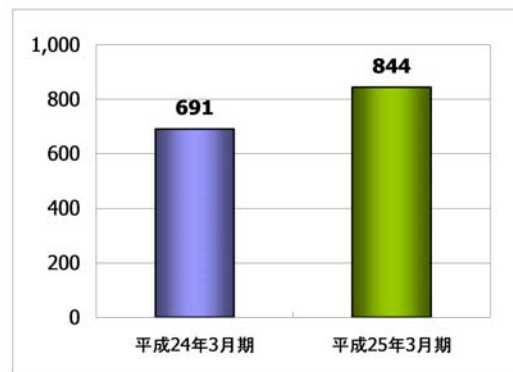
（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （平成23年4月1日～ 平成23年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （平成24年4月1日～ 平成24年12月31日）	前年同四半期比	
			増減額	増減率 （%）
セキュリティ コンサルティングサービス	1,033	1,448	414	40.1
セキュリティ 診断サービス	558	526	△31	△5.7
セキュリティ 運用監視サービス	1,456	1,488	32	2.2
売上高	3,048	3,463	415	13.6
セグメント利益	691	844	153	22.3

[売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[セグメント利益の前年同四半期比 単位:百万円]



セキュリティコンサルティングサービスは、遠隔操作ウイルス事件や標的型メールによるサイバー攻撃、官公庁や企業のホームページ改ざん、個人情報漏えいなど、セキュリティ関連の事件・事故が頻発し社会を脅かすなか、緊急対応サービスが増加し、他のセキュリティサービスへの展開を牽引しました。また、金融機関向けセキュリティ対策支援などの新規案件や常駐型コンサルティング案件の受注も好調に推移し、売上高は14億48百万円（前年同四半期比40.1%増）となりました。

セキュリティ診断サービスは、大型案件があった前年同四半期に比べ受注がやや減少しましたが、既存顧客からのリピート案件や、緊急対応サービスからの受注など新規案件も引き続き好調に推移し、売上高は5億26百万円（同5.7%減）となりました。

セキュリティ運用監視サービスは、顧客のネットワーク構成変更などに伴う監視センサー数の減少が一部にあったものの、外部からの侵入防御だけでなく、不正侵入を想定したいわゆる出口対策への意識の高まりなどから受注が堅調に推移しました。また、企業や官公庁内にセキュリティ監視センターを構築し運用を支援するサービスに注力し、売上高は14億88百万円（同2.2%増）となりました。

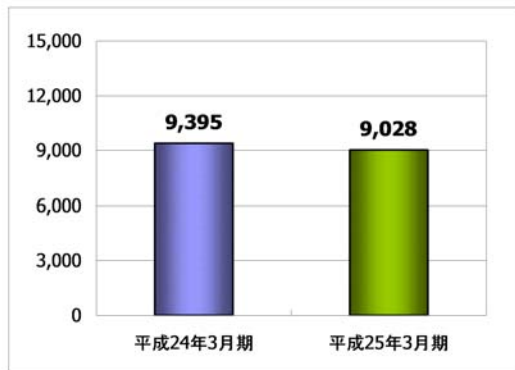
この結果、SSS事業の売上高は34億63百万円（同13.6%増）、セグメント利益は8億44百万円（同22.3%増）となりました。

システムインテグレーションサービス事業（S I S事業）

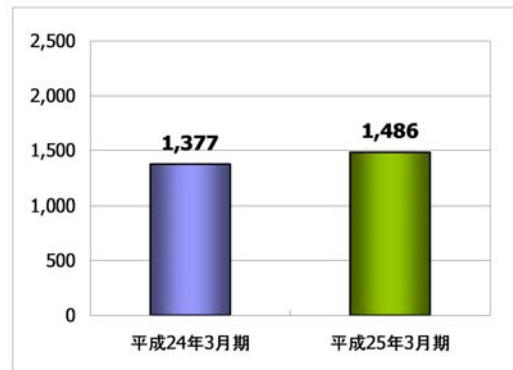
（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （平成23年4月1日～ 平成23年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （平成24年4月1日～ 平成24年12月31日）	前年同四半期比	
			増減額	増減率 （%）
開発サービス	9,395	9,028	△367	△3.9
売上高	9,395	9,028	△367	△3.9
セグメント利益	1,377	1,486	108	7.9

〔売上高の前年同四半期比 単位：百万円〕



〔セグメント利益の前年同四半期比 単位：百万円〕



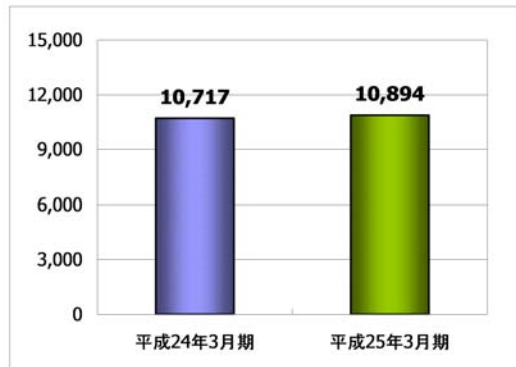
開発サービスは、カード統合案件など金融機関向けを中心に基盤系案件の受注が好調に推移したものの、サービス業向けや製造業向けなど業務系アプリケーション開発案件の減少や、ディーラー事業のHW/SW販売の不振に伴うSEサービスの減少により、S I S事業の売上高は90億28百万円（前年同四半期比3.9%減）、セグメント利益はのれん償却額の減少などにより14億86百万円（同7.9%増）となりました。

ディーラー事業

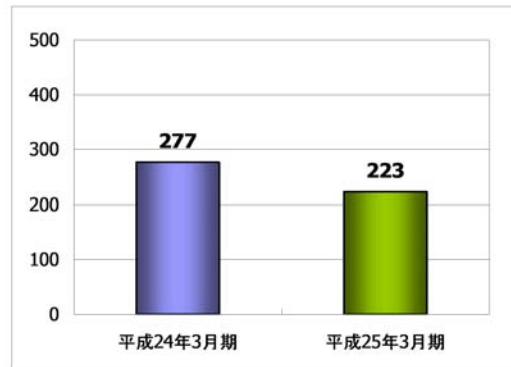
(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年12月31日)	前年同四半期比	
			増減額	増減比 (%)
HW/SW販売	5,603	4,886	△717	△12.8
I T保守サービス	4,694	5,564	870	18.6
ソリューションサービス	419	442	22	5.4
売上高	10,717	10,894	176	1.6
セグメント利益	277	223	△54	△19.5

[売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[セグメント利益の前年同四半期比 単位:百万円]



HW/SW販売は、セキュリティ監視サービスの受注増加に伴いセキュリティ関連製品は堅調に推移しました。また、金融機関向けの一部に受注が回復したものの、競争が一段と激化するなか、クラウドの活用や機能を絞ったシステム構築など、案件の減少や小型化が影響し、売上高は48億86百万円（前年同四半期比12.8%減）となりました。

I T保守サービスは、引き続き価格の低減要請など厳しい状況であったものの、昨年4月に買収した子会社のネットワーク構築関連の保守売上が寄与し、売上高は55億64百万円（同18.6%増）となりました。

ソリューションサービスは、自治体向けシステム更新案件の受注が順調に推移し、売上高は4億42百万円（同5.4%増）となりました。

この結果、ディーラー事業の売上高は108億94百万円（同1.6%増）、セグメント利益は2億23百万円（同19.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、193億93百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少3億34百万円、受取手形及び売掛金の減少1億96百万円、商品の増加3億78百万円、前払費用の増加8億40百万円、のれんの減少3億42百万円、繰延税金資産（固定）の減少4億24百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ7億91百万円増加し、136億81百万円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金の増加3億33百万円、未払法人税等の減少2億47百万円、前受収益の増加9億16百万円、社債の減少50百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ7億97百万円減少し、57億12百万円となりました。これは主に優先株式の取得及び消却などによる資本剰余金の減少10億23百万円、四半期純利益の計上などによる利益剰余金の増加2億49百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は29.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

欧州諸国の信用不安や海外景気の下振れリスクがあるものの、輸出環境の改善や経済対策の効果などを背景に、景気回復へと向かうことが期待されます。

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月15日の決算短信で公表いたしました通期業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成24年4月1日付けで、（旧）株式会社ラック、エー・アンド・アイ システム株式会社及び株式会社アイティークルーの3社を吸収合併し、商号を「株式会社ラック」に変更いたしました。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更が、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

（4）追加情報

（在外子会社の収益及び費用の本邦通貨への換算方法の変更）

在外子会社の収益及び費用は、従来、当該在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、在外子会社のグループにおける重要性が増したことにより、第1四半期連結会計期間より原則的な方法である期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更が、当第3四半期連結累計期間の売上高、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,003,362	2,669,065
受取手形及び売掛金	4,854,151	4,657,243
商品	134,033	512,878
仕掛品	168,481	448,110
貯蔵品	2,182	2,350
前払費用	2,066,010	2,906,421
その他	599,675	449,615
貸倒引当金	△2,431	△2,361
流動資産合計	10,825,466	11,643,324
固定資産		
有形固定資産	1,169,499	1,098,598
無形固定資産		
のれん	2,906,079	2,563,442
その他	1,598,523	1,698,248
無形固定資産合計	4,504,603	4,261,691
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,619,789	1,195,032
その他	1,280,440	1,195,130
投資その他の資産合計	2,900,229	2,390,163
固定資産合計	8,574,332	7,750,452
資産合計	19,399,798	19,393,777
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,053,426	2,066,032
短期借入金	514,599	480,000
1年内返済予定の長期借入金	1,655,000	2,006,000
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	301,603	54,129
前受収益	2,092,487	3,008,879
賞与引当金	69,910	42,598
受注損失引当金	6,465	14,942
その他	1,453,315	1,461,281
流動負債合計	8,246,807	9,233,864
固定負債		
社債	150,000	100,000
長期借入金	4,154,000	4,136,750
退職給付引当金	57,871	71,397
負ののれん	2,748	1,099
その他	279,008	138,339
固定負債合計	4,643,628	4,447,586
負債合計	12,890,436	13,681,450

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	4,646,472	3,622,852
利益剰余金	1,236,787	1,485,937
自己株式	△331,592	△331,657
株主資本合計	6,551,667	5,777,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△36,914	△89,531
為替換算調整勘定	△16,005	1,311
その他の包括利益累計額合計	△52,919	△88,219
少数株主持分	10,615	23,413
純資産合計	6,509,362	5,712,326
負債純資産合計	19,399,798	19,393,777

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	23,162,417	23,386,292
売上原価	18,278,356	18,476,730
売上総利益	4,884,060	4,909,561
販売費及び一般管理費	3,909,957	3,708,610
営業利益	974,103	1,200,950
営業外収益		
受取利息	179	200
受取配当金	1,129	1,342
負ののれん償却額	1,649	1,649
保険解約返戻金	1,591	6,873
その他	12,458	11,030
営業外収益合計	17,008	21,095
営業外費用		
支払利息	86,077	68,353
支払手数料	80,212	51,350
その他	5,206	15,811
営業外費用合計	171,496	135,515
経常利益	819,616	1,086,530
特別利益		
負ののれん発生益	—	59,478
本社移転損失引当金戻入額	8,500	—
特別利益合計	8,500	59,478
特別損失		
固定資産除却損	1,609	19,127
事務所移転費用	1,900	—
特別退職金	7,795	—
減損損失	—	27,956
社葬関連費用	47,672	—
その他	—	387
特別損失合計	58,977	47,471
税金等調整前四半期純利益	769,139	1,098,537
法人税、住民税及び事業税	237,728	91,382
法人税等調整額	454,952	460,686
法人税等合計	692,681	552,069
少数株主損益調整前四半期純利益	76,457	546,468
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△345	4,051
四半期純利益	76,803	542,417

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	76,457	546,468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,599	△52,616
繰延ヘッジ損益	2,111	—
為替換算調整勘定	△12,993	18,286
その他の包括利益合計	△26,481	△34,330
四半期包括利益	49,976	512,138
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,581	507,118
少数株主に係る四半期包括利益	△1,604	5,020

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年6月27日付で、A種優先株式5株を取得し、同日付で消却いたしました。この結果、第1四半期連結会計期間においてその他資本剰余金が1,023,627千円減少し、当第3四半期連結会計期間末における資本剰余金は3,622,852千円となっております。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティソリ ューショ ンサービ ス事業	システムイ ンテグレー ションサー ビス事業	ディーラー 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	3,048,179	9,395,565	10,717,626	23,161,372	1,045	23,162,417	—	23,162,417
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	20,733	185,926	160,585	367,244	—	367,244	△367,244	—
計	3,068,913	9,581,491	10,878,212	23,528,617	1,045	23,529,662	△367,244	23,162,417
セグメント利益	691,098	1,377,521	277,671	2,346,290	1,045	2,347,335	△1,373,232	974,103

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の非連結子会社に対する業務受託収入等であります。

2. セグメント利益の調整額1,373,232千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	セキュリティソリューションサービス事業	システムインテグレーションサービス事業	ディーラー事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	3,463,979	9,028,287	10,894,025	23,386,292	—	23,386,292
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,463,979	9,028,287	10,894,025	23,386,292	—	23,386,292
セグメント利益	844,979	1,486,438	223,516	2,554,934	△1,353,983	1,200,950

(注) 1. セグメント利益の調整額1,353,983千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日付の子会社吸収合併とそれに伴う組織変更に伴って各報告セグメントの構成の見直しを行なっております。

「セキュリティソリューションサービス事業」セグメント及び「システムインテグレーションサービス事業」セグメントの一部を「ディーラー事業」セグメントに変更しております。また、「ディーラー事業」セグメントの一部を「システムインテグレーションサービス事業」セグメントへ変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「セキュリティソリューションサービス事業」セグメントにおいて、想定した収益が見込めなくなった事業用ソフトウェアの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、第2四半期連結会計期間においては27,956千円であります。

なお、第1四半期連結会計期間および当第3四半期連結会計期間においては該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、「ディーラー事業」セグメントの一部を「システムインテグレーションサービス事業」セグメントへ変更したことに伴い、のれんの一部についてセグメントの変更を行っております。当該事象による「ディーラー事業」におけるのれんの減少額は968,693千円であり、「システムインテグレーションサービス事業」においては、同額ののれんが増加しております。

なお、第2四半期連結会計期間および当第3四半期連結会計期間においては該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「ディーラー事業」セグメントにおいて、アイ・ネット・リリー・コーポレーション株式会社の株式を取得したことにより、負ののれん発生益が生じております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、第1四半期連結会計期間においては59,478千円であります。

なお、第2四半期連結会計期間および当第3四半期連結会計期間においては該当事項はありません。